

アンジェラ 磨紀 バーノン

Angela Maki Vernon



- 自身BOOK第二弾「Hawaii nei～愛されるハワイ」6/29(金)発売決定!!
- TBS「世界ふしぎ発見!」スタジオゲスト出演、NHK BS1「TOKYO FASHION EXPRESS」出演中
- Angela Maki's YOGA WS @be my self 定期的に開催

日本人の母とアメリカ人の父の間に生まれ、18歳まで日本で育ち、その後ハワイに移住。サーフィン雑誌やテレビ番組でモデルやパーソナリティ等幅広く活動し、ハワイではプロサーファー・カリスマコサーファーとして大人気に。また彼女自身が主催しているボランティアサーフインスクール「Ocean's Love」は、障がいを持つ子供達に海やサーフィンの楽しさを伝えたいという彼女の想いから始まり、今年で5年目をむかえる。今後は毎年開催している茅ヶ崎海岸だけではなく、全国での開催を展開予定。サーファーの傍ら、ヨガのスペシャリストでもある彼女は、ハワイアンヨガDVD「Hawaiian Life Style with Yoga」をリリースするなど、健康的なヨガライフを実践し、日本でもさまざまなイベントに出演。

生年月日:1980年3月24日(31歳)
サイズ:身長 164cm B 87cm W 62cm H 90cm S 24.5cm
出身地:東京都 血液型:O型
趣味:スキューバダイビング、ランニング、貝殻拾い、ハイキング
特技:英語、サーフィン、ヨガ



LDH Inc
Love + Dream + Happiness

株式会社LDH
〒153-0043
東京都目黒区東山1-2-2 目黒東山スクエア
ビル4F
TEL:03-5725-2478 / FAX:03-5725-2115

★スポンサー

サーフィンボード→A.S.R(Local Motion Japan)

サーフィンギアブランド→Destination

カジュアル時計ブランド→NIXON

★サーフィン

【大会結果】

2005年5月	“Surf Into Summer”	優勝
6月	“China Uemura Wahine”	準優勝
2006年5月	“Surf Into Summer”	4位
6月	“China Uemura Wahine” Pro-Am	準決勝敗退
	Open	準決勝敗退
7月	“ビーチクリーンカップin新島” Open “Haleiwa International”	3位 優勝
2007年3月	“Pipeline Women’s contest”	一回戦敗退
5月	“Surf Into Summer” Open Women’s Longboard	4位
7月	“Steinlager’s Contest@Bowl’s”	5位
9月	“Roxy World Championship in Cardiff”	三回戦敗退
2008年3月	“Noosa’s Contest in Australia”	一回戦敗退
5月	“Surf into Summer at Bowls”	一回戦敗退
6月	“China Wahine Contest” Pro-Amat Queens	一回戦敗退
9月	“Roxy World Champioship” in San Diego	二回戦敗退
2009年5月	“Surflnto Summer”	優勝
2010年5月	“Surflnto Summer”	優勝

【サーフインスクール】

Ladies Surfing School in 千葉(2004.8)

Ladies Surfing School in 千葉(2005.8)

Kid’s Surfing School “Ocean’s Love” in 湘南(2005.8)

Kid’s Surfing School “Ocean’s Love” in 湘南(2006.8)

Ladies Surfing School in ハワイ(2006.9)

“Ocean’s Love” in 湘南(2006～現在)

Surfing School&Talk show in 秋田(2007.8)

Surf Camp in Hawaii(2007.10)

etc...



★出演歴

【TV】

BS-TBS「自転車つれづれ旅日和」ゲスト出演(2011.10.25O.A)
TBS「世界ふしぎ発見！」番組25年特別連続企画 ハワイ2時間SP出演！！(2010.10.23)
→その後スタジオゲストに定期的に出演中

NHK BS1「TOKYO FASHION EXPRESS」出演中

スカイパーフェクトTV「ALOHA天国」MCレギュラー(2002.7～現在)
テレビ東京「Aloha Surf TV」MCレギュラー(2003.1～2003.5)
テレビ東京「Aloha Style」MCレギュラー(2003.6～2003.12)
フジテレビ「めざましテレビ」(2003.1) / テレビ東京「山田優、母と行く Hawaii」ナビゲーター(2004.12)
スカイパーフェクトTV「How to Surf」MC(2005.4～2005.8)
テレビ東京「Aloha Girl」(2007) / スカイパーフェクトTV「J-Sports」(2007)
スカイパーフェクトTV「Aloha Nalu」(2007)
BS12「HAPPYハワイ」ナビゲーター(2010.4～現在)

【映画】

「RAINBOW DRIVEINN」大江利哉監督(2006.3)

【RADIO】

FM Yokohama「We love湘南～across the Ocean」レギュラー(2004～現在)

【カタログ】

「マツキWedding」(2001.4～2003.4)
「SCUBA PRO」(2004.1～現在)
「Transcoot」(2005～現在)
「NINE」2010 S/Sカタログ w/佐田真由美

【CM・広告】

資生堂「SEA BREEZE」(2006.1～2006.12)
JAL「Hawaii Sports&Smaile」(2006)
レディースカジュアルブランド「HALEIWA HAWAII」イメージモデル(2009.6～現在)

【DVD】

「How to surf」(2005.8)、**「How to surf In Hawaii2」(2009.7)**、
「Hawaiian Life Style with YOGA」(2006.6)

【雑誌】

「Beach Girl」(エイ出版)、「VOCE」「Frau」(講談社)、「anan」「Jane」(マガジンハウス)、Body+(実業之日本社.)
「PS」(小学館)
ムック「美女になれる秘密のトレーニング」「ハワイ本」「ハワイスタイル」(エイ出版)
「まっぷるマガジンホノルル2011」(昭文社)、「るるぶホノルル'11」(JTBパブリッシング) etc…多數

【イベント】

LOHASのトークショー@銀座Apple Store(2006.7)
Hawaiiイベントトークショー@渋谷(2006.9)
Nike&OZ magazine Yogaイベント@初島(2007.9)
Nikeトークショー@ハワイ(2007.12)
ウクレレイベントトークショー&mini LIVE「UKULELE PICNIC 2009」@横須賀ソレイユの丘(2009.8)
YOKOHAMA yoga fest 2009@パシフィコ横浜(2009.9.22)
RIKACOproduceSHOP「be my self」ヨガスタジオにてワークショップ (w/バラッド・ダス)(2009.10)
Nike The Human Race 10K@本栖湖(メインステージ・サブステージにてヨガセッション)(2009.10)
湘南国際マラソン2009(Nike10Kランナー向けヨガセッション)(2009.11)
「HALEIWA 2010 SPRING&SUMMER PARTY」@代官山ヒルサイドプラザ にてトークショー (2009.12.18)
Angela Maki Vernon&Bharat Das -YOGA WORKSHOP SPRING TOUR2010- (2010.4.3～4.11)
Angela Maki YOGA WORKSHOP@広島(2010.4.18)

etc…多數



Hawaií nei

～愛されるハワイ～

Angela Maki Vernon
×
LaniLani

ハワイの最新情報誌「LaniLani」プロデュース！

ロコのアンジェラおすすめの癒し &

元気スポットがいっぱい。

Ocean's Love ❤ とは...??

モデルでありながら大会にも積極的に参加し、サーファーとしても活躍している「アンジェラ・磨紀・バーノン」が障がいを持つ子供たちに向けて、サーフィンやボディボードを通じて社会とのコミュニケーションをとり、自然とふれあうことで感動をし感情あふれる健やかな成人になって欲しいと願いを込めて始めたサーフィンスクールです。



Ocean's Love ❤

～障害児のためのサーフィンスクール～



障がいを持つ子供達にサーフィンを通じて海の素晴らしさ、海の愛、エネルギーを感じてもらって
少しでも心がハッピーになってもらえたと思うところから始まった活動です。

私の兄が障がいを持っていて、以前から何か自分ができる事はないかな?と思っていた時にハワイで自閉症の子供達に
サーフィンを体験してもらう活動にボランティアとして参加した事で、これだ!と思いついたのです。
波に乗るまでは海に来て私の目さえも見れずにずっと下を向いていた子供達が、沖にてて波に乗って岸に帰ってくると、
満面の笑顔!もう一回、もう一回!と沖を指差す子供達を見て、サーフィンが、海がこれほどまでにも人の心を動かす力
がある事に感動しました。一人のサーファーとして私も毎日海に入っていて、海から癒してもらい、海に愛されて、
海から自然の大しさ、感謝の気持ちなど多くの事を学んでいるので、是非これを少しでも多くの人達とshareする事が
できたらなんて素晴らしいんだろうと思って私は、スクールなどを開催しています。

このOcean's Loveは、その中でも私にとっては特別な存在です。

なかなか海に行かれない子供達や、サーフィンというものさえ知らない子供達。

最初は日本でも初の試みで不安でいっぱいでしたが、多くの人の支えがあり今年でもう5年目。
今では、毎年多くの子供達の笑顔から沢山の元気をもらい、毎回子供達から沢山の事を学ばさせてもらっています。
私の目標は、全国でOcean's Loveを開催する事!です。

一人でも多くの子供に海の素晴らしさ、

サーフィンの楽しさを知って頂ける様に。。。

Angela mack



<http://www.oceanslove.org>

海を通じてもっと笑顔になろう！

障害を持つ子供達に海やサーフィンの楽しさを伝える、
アンジェラ・マキちゃん主催のOcean's Love。
5年目を迎えるこのイベントが、今年も湘南で開催されました。

写真=鶴野津司

子供達の笑い声が響き渡る夏
のビーチ。たくさんのサーファー
や家族連れが集まり、にぎわ
いを見せる7月の湘南の海。こ
の場所に、BG読者にもお馴
染み、ハワイ在住のアンジェラ・
マキちゃんの姿がありました。
障害を持つ子供達に、サーフ
ィンを通して海の素晴らしさ、
海の愛、エネルギーを感じても
らいたい。そんな思いから、彼
女が日本で始めた活動が「Oce
an's Love」。

毎年、夏に開催されるこのイ
ベントでは、マキちゃん自身が
子供達にサーフィンを教えたり、
みんなでBBQをしたり、ス
イカ割りをしたりと、夏の海を
存分に楽しむアイデアがいっぱい
です。今年で5年目を迎えたこの
イベントでは、例年よりも多く

のボランティアの方が参加し、
その数50名以上。子供達のた
くさんの笑顔とともに、大盛況で
幕を閉じました。

「毎日海に入る一人のサーファ
ーとして、海から教へてもらつ
たり、自然の大切さを学ばせて
もらつてます」

こう話すマキちゃんは、以前
ハワイで日閉症の子供達にサ
ーフィンを体験してもらうとい
うボランティア活動をし、その時
に海の素晴らしさを改めて強く
感じたといいます。

「海に来ても、私の日々見え見ら
れず、ずっと下を向いていた自
閉症の子供達が、沖に出て波に
乗って戻ってくると、満面の笑
みだったんです。『もう一回、
もう一回』と、沖を指差す子
供達を見て、サーフィンや海が



profile

アンジェラ・マキ・ペーノン ハワイ・オアフ島在住の女性
ロングボーダー。生まれた分野で、海やサーフィンの素晴
らしさを伝える活動を行う。サーフィン講師の他、テレビや
ラジオなどにも出演し、モデルとしても幅広く活躍中。健脚
で人懐っこい笑顔は、多くのビーチガール達の憧れ



7月25日、茅ヶ崎の海で開催された、2009年のOcean's Love。多くのスポンサー・ボランティアの協力で今季も大盛況。子供達の笑い声がビーチに響き渡り、笑顔で幕を閉じました

「毎日海にいるサーファーとして、自分にできることをやっていきたい」



上：イベントを開催する前に、皆で手をつなぎ心を一つにして、海へ感謝を捧げます
右：イベント当日の天気は快晴。まさにサーフィン日和！ 左：海でいっぱい遊んだ後は、全員でビーチクリーン。たくさんのごみが落ち、ビーチもきれいに

こんなにも人の心を動かす力があることに感動しました。障害があるためになかなか海へ行けなかつたり。サー・フィンさえ知らない子供達、サーフィングを体験することで、少しでも心がハッピーになつてくれたらいい。そんなマキちゃんの気持ちがたくさんの人々に伝わったのでしようか。多くの人が彼女のまえになつてくれたとります。

「最初は、日本でも初の試みで不安もいっぱいでした。でも今は、毎年多くの子供達から笑顔とたくさんの元気をもらっています。子供達からいろんなことを学ばせてもらつてるので

すよ」
「これから目標は、全国の海
と、今回のイベントが終わつた
後、力いっぱいにこう話していく
れたマキちゃん。その笑顔はと
ても素敵で、夢と希望に満ちてあ
ふれていました。

第十一章

Ocean's Love
オーシャンズ・ラブ

日程：9月19日（土）
場所：茅ヶ崎ボードウォーク村
参加人数：40名
Ocean's Love のチャリティ商店会
も開催。ボランティア募集中
www.wingup-pt.com/oceanlove
www.o-fun.net/shop.html
oceans-love@wingup-pt.com



主催者の方々。右から、鈴木薫さん、アンジェラ・マキちゃん、岡田留衣江さん



1：アキちゃんも子供達と一緒にラジオ体操。長い長いロコモコと一緒に跳んだフランクフルトにお腹も大満足。2：この日の午後はヒマセモのファンタジー。子供達もガードの上に立って、オープニングで大喜び。3：夏の思い出にもつながる、気分を乗っ取るのコント（作詞：4）一人の子供に対する想い、他人の子供に対する想いを歌える。5：ハワイにいる時、海を使って小物を作るというハワイちゃん。子供達と一緒に手作り工作

Recommend 1 “ボウルズでサーフайн！”

「ハイでサーフィンに挑戦して、ガチガチになった身体と心をほぐしていくんですね。ボウルズの左側は、ローカルの人ほど強くななくなれないですが、右側は比較的強いですね。特に波が大きい時は、ボウルズやRock pilesの波は、ビーチから最もレベルの高いうまく乗りやすいです。」
ワイヤキの筋肉からもぐる近いので、ここに観光で来る人も多いだけのリゾート地ですが、ひとつかい体験をつけたい人にはチャレンジOK。海水浴が第一で、しかも海水浴が楽しめるのが、ヤシバオフ。彼女は「絶対に足がしないようにしてくださいね」とアドバイス。ヤシバオフは、



ボウルズ

DATA (MAP→P59-E-①)
行き方：ワイキキからAla Moana Blvd.を経て,Kahanamoku Stの交差点を左折、そのまま西側へ進む。宿泊先から正面の駐車場前

このサーフィンスクール＆サーフスポットも
Recommend

KIRBY SURFING GUIDE

A photograph of a man and a young child standing on a surfboard in the ocean. The man is holding the child up, and they are both looking towards the horizon. The water is a bright blue-green color.



Diamond Head Beach Park

[中級者におすすめなのが、ダイヤモンドヘッド！ ブレイクがいくつもあり、幅広いので波をキャッチしやすいんです。注意したいのは、レンタカーで行く場合、車の中に物を置いておかないこと！ 養生品は必ず携行してください】



ハレマエ・ビーチ



A woman in a blue and white bikini is captured mid-dive into the ocean. She is positioned horizontally across the frame, with her arms raised above her head and legs bent. Her hair is dark and wet, and she has a joyful expression with her mouth open. The background features a clear blue sky with scattered white clouds and a city skyline with several skyscrapers along a coastal area.

Recommended 2

卷之三

「アーティスト、あるいはDJからも見てて頂けるので、お問い合わせの際は、写真と一緒にレシートと一緒に送られるところが多いです。曲の名前を明記していると、ゴールにはマイクが付いているので、それを確認して頂ければ、問題ないかと思います。」



Diamond Head Trail

【問題が無い】セミナーパートナーをもつた方が、問題解決に対する理解度が高くなる事を実感する事が多い。セミナーやセミナーパートナーは、問題解決のための知識や技術を学ぶ場となる。また、問題解決のためのアプローチ法を学ぶ場となる。セミナーパートナーは、問題解決のためのアドバイスを提供する場となる。

Journal of Health Politics, Policy and Law, Vol. 31, No. 1, January 2006
DOI 10.1215/03616878-31-1 © 2006 by The University of Chicago



111

この小説の第一、二部は、歴史的事件をもつて書かれていたが、第三部では、歴史的事実をもつて書かれていた。これは、物語の構成上、ハラスの立場を尊重してのことである。第三部は、ハラスの立場を尊重して書かれていた。

この問題は、多分、多くの学者の間で議論されてゐるが、筆者もその一つである。筆者は、この問題を解くために、まず、この問題の本質を明確にし、次に、この問題の解法を明確にする。この二つの問題を解決するには、まず、この問題の本質を明確にしなければならない。この問題の本質は、この問題の解法を明確にするためのものである。



1

7/7/2018
W788,7
05.11.17
SCHUTZ



卷之三

七
七

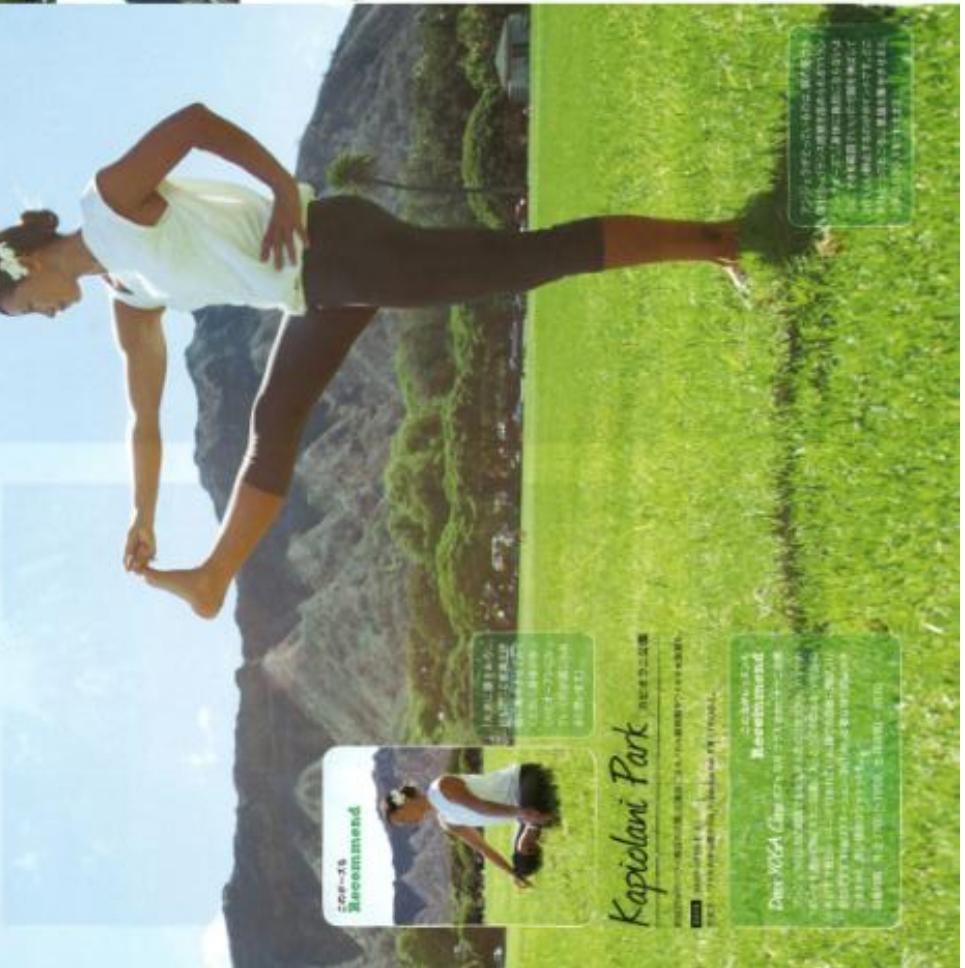
アーティスト・プロフ



Recommended 3

ベースボール・カーニバル

「おまえちうごく目撃的の意味がなく、ナマリ目的の意味が付いておられる様子。ワイヤーの何ぐらかは思ひないけど、ビーコンならムードが違っているんで。ダイヤモンドヘッドが力量で立っている様子より、太陽の黒星とかもう少し見ていらっしゃる事、感覚がちがう印象をもつておられただけで、心がグリーンになります。そんなにご興味ある方だとおもふと、何かお手本がうなづける事で、お手本でやる事もあれば、お手本に入らぬ事で、ヨリおもしろいから手本をうなづく事もあれば、手本を離れて自分でやる事もあるので、ぜひおまえがうなづけてお手本にしていいですよ。」



Kapiolani Park
州立公园二四

卷之三

Dear Wanda I have written a short note—
I am sending you a copy of the
new book "The Art of the Novel" by
John Englekirk—It is a very good
book and I think you will like it.
I am sending you also a copy of
the new book "The Art of the Novel"
by John Englekirk—It is a very good
book and I think you will like it.

Kauai Paint Trail

【参考】ノーマン・シンドラーが提出した構成指針「ポイント・アンド・エクスプレス」
（出典：著者作成）

（1）構成指針ノーマン・シンドラーが提出した構成指針が「ポイント・アンド・エクスプレス」。この指針は、物語の構成を「物語の筋道」「登場人物」「物語の世界」「物語の文脈」の4つに分けて、各要素の重要性を示すものだ。

（2）物語の筋道が「物語の世界」であることを示す「アーチ」を「アーチ」と呼ぶ。物語の筋道が「物語の文脈」であることを示す「カーブ」を「カーブ」と呼ぶ。

（3）物語の筋道が「登場人物」であることを示す「ストレート」を「ストレート」と呼ぶ。

（4）物語の筋道が「物語の世界」であることを示す「アーチ」と「カーブ」を組み合わせた複数の筋道を示す「トランジショナル・ルート」と呼ぶ。

（5）物語の筋道が「登場人物」であることを示す「ストレート」を「ストレート」と呼ぶ。



Kaima Ridge Trail 2007, 2008, 2009

「黒魔術」＝カイリード一望できるのが幽霊では、黒魔術のすべての
バーグが魔じるじたうようが魔術にもなります。おまけに、魔のよう
に
黒魔術を行きたくなるは、がむか地獄よ！」

ホーリー口からもじにこれまで90分で、エマラルドグリーンの美しい魔
術アーティストによる魔術公演が開催されました。エマラード
が魔術アーティストですか？

【解説】300万冊以上販売された「アーティスト・リクエスト」が、ついに日本語版として登場。アーティストの名前を記入する欄も付いています。



A scenic view of a tropical coastline. The foreground is filled with dense, lush green trees and foliage. To the right, a sandy beach leads into clear, turquoise-blue water. In the distance, a small, rocky island or peninsula juts out into the sea. The sky is a bright, clear blue.



Recommend
このハーフガラント

ENTERTAINMENT
BOOK 01

ANGELA MAKI VERNON

photography Pak Ok Sun(CUBE) styling Miki Inaba(welina) hair & make Tomomi Karitomi(ETOCA)
interview Yurie Kimura edit Asami Sakurai

“Hawaii”に呼ばれて……。

自身初のPhoto Book『Love Hawaii!』を4月に発売した、
アンジェラ・磨紀・バーノン。
ハワイという土地から溢れんばかりの愛を受け、
ハワイに、そして、サーフィンに恋し続けている彼女が、
『Love Hawaii!』を通して伝えたい想いとは?



写真左、右...チュニック￥16,590/Kai Lani USA、デニムショートパンツ￥9,240/
Kai Lani(ともにKai Lani渋谷マークシティ店) アクセサリー／本人私物
写真下...フフーマキシ丈ワンピース￥14,480/Kai Lani USA、
レース編みベスト￥18,880/Fearless(ともにKai Lani渋谷マークシティ店)
パンツ￥3,880/Luna Flutus(同上) その他アクセサリー／本人私物





ハワイに住んだら、私の心がオープンになって、自分のこと好きになることができた。

フケワーフビース￥19,740、ハット￥6,090／
ともにKai Lani (Kai Lani渋谷マーケシティ店)
サボ￥29,400／Kai Lani@Montane (Kai Lani渋谷マーケシティ店)
アクセサリー／本人私物

——アンジェラさんは生まれも育ちもハワイだと思ってる人が多いようですが、日本でアメリカンスクールを卒業したあと、ハワイに移住されたんですね。

ハワイにはハーフの子が多いので、ローカルの人にもよく「日本から来たんだ」と驚かれます(笑)。私自身、日本よりハワイのほうが、自分には合ってるなって。”呼ばれて行った土地”だからだと思うんですけどね。

——“呼ばれて行った”というのは?

初めての海外旅行がハワイで、大学を決めるときに、まだ将来のことは何も見えていなかったので、せっかくならあの美しいハワイがいいな、と思って、軽い気持ちで移住したんです。でも住み始めたらどんどんハワイの魅力にハマって、私の心がオープンになって、自分のことを好きになることができた。私はこの土地にいるべきなんだって住めば住むほど感じますし、今はハワイを離れるなんて考えられないです。

——ハワイの本を作りたいと思ったのはいつごろですか?

4、5年前に“自分の本を出したい”と思ったのが最初です。それがどんな本なのか、そのころは全然見えていなかったんですけど、だんだん”ハワイの魅力を紹介できて、自然に対する感謝の気持ちを持ってもらえる本にしたい”と思うようになって……。本を開くと心にハワイの風が吹いて、癒されるような気分になってしまいと願いながら、『Love Hawaii』を作っていました。

——これまでテレビやラジオの番組でハワイのいろんなお店を紹介してきたアンジェラさん。今回、厳選して紹介するうえで最も意識したのはどんなことですか。ハワイのいちばんのよさは、自然も人々も、シンプルだけど優しさが詰まっているところ。そういう”素のハワイ”を楽しんでもらえるように、ローカルの目線で選びました。ローカルの私たちが利用する安くおいしいお店や私たちが普段遊んでいる場所、ハワイのアーティストが作った、ハワイの愛がたくさん詰まったお土産が買えるお店……。これまでの観光ガイドにはあまり載っていないところばかりだと思います。

——後半にはエッセイも。そこで伝えたかったことは? 最初は“私”という人間を知ってもらいたいという想いがありました。だんだん私のことより私が好きなハワイをもっと知ってもらいたいという気持ちに変わって。それでハワイの文化や習慣についても書かせていただきました。文化や習慣を知ったうえでハワイでの行動プランを立てて、ローカルのひとりになったような気分でハワイを楽しんでもらえたたらうれしいですね。

——実際に本を手にしたときはどんな気持ちでしたか。福集作業に入ってからは、ハワイと日本でメールやデータをやりとりしていたので、本を作っている実感がありなかったですね。この本の中にも写真が載っているのですが、私のお部屋には”ヴィジョンボード”があって、そのヴィジョンボードに、これから行きたい場所、自分の夢、忘れてはいけない言葉などを書いた紙がたくさん貼ってあるんですが、その中に”BOOK”もあって……。その夢が叶ったことに、感動しました。本を作りたいと思ったとき



この本を見て、ハワイの風を感じてもらって、少しでもリラックスできたり、元気になってもらえたなら。

は、内容は漠然としていたけど、表紙や裏表紙や本の中の写真のイメージはすでにあったんですよ。それが、たくさんの方々のご協力のおかげで現実になった。1ページ1ページがとても大切です。自分の宝物ですね。写真もすごくきれいなんです。

——本当に、見ているだけで気持ちよくなる写真がたくさんありました。

3月に東日本大震災があり、私は正直出版はやめたほうがいいんじゃないかな、と思ったんです。でも「ハワイが大好きな方は、この本を見るだけきっと元気になる」から出したほうが多いですよ』って背中を押してくれたスタッフの方がいて、本を作るときに私の心の芯にあったのは『皆さんにハワイの風を感じてもらって、毎日の中で少しでもリラックスしてもらいたい、元気になってほしい』という想いだったので、何か役立てたらうれしいな、と思って、出すことにしました。

——アンジェラさんのキャラクターや美貌のパワーも

大きいと思いますが、表紙を見ただけで明るい気持ちになれる気がします。

ありがとうございます。日本にいると余計にハワイが恋しくなって、この本を見ると“ああ、ハワイってやっぱりいいな～”って(笑)。私、ハワイの景色ももちろんんですけど、ハワイが生み出す色がすごく好きなんですね。ハワイの景色の色やお花の色って、独特なんです。

——ほかの南の島とも違いますか?

違いますね。気候とか地形とか海流とかの影響だと思うんですけど、いやなことを忘れさせてくれるような、優しくて、気持ちよくて、力強い色なんです。その“ハワイの色”が、この本の写真にはすごくきれいに出ている。だからこの本を見ると、自分も癒されます。

——アンジェラさんにとってのハワイとは?

私にとってハワイは、“母なる大地”。だからこそ、ハワイに帰るとハワイのすべてが私をぎゅっと包み込んでくれるのを感じるんです。

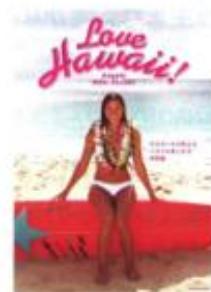


PHOTO BOOK 「Love Hawaii!」
講談社 NOW ON SALE

Angela Maki Vernon
アンジェラ・磨紀・バーノン

1980年、横浜生まれ。日本人の母とアメリカ人の父の間に生まれ。10歳まで日本で育ち、その後ハワイに移住。ハワイの自然と海をこよなく愛する。プロサーファー、ヨギー、モデルとして活躍。娘いを持つ子どもたちに、海の楽しさやサーフィンの楽しさを体験してもらうサーフィンスクール「Ocean's Love」主宰者。日本でも、雑誌やテレビ番組でモデルやパーソナリティ等幅広く活動。シンプルなライフスタイルに、若男女問わず多くのファンから愛されている。<http://amobile.jp/angelamaki>

人間にも地球にも
やさしいコトやモノを選びたい。
健康から食、旅、
ファッショントピックまで、
自分らしく生きる
ヨギのための生活アイデア集。



ヨガとケーフィンで鍛えられた健康的なスタイルを見せてくれたアンジェラ・磨紀さん。白のラングレート¥10,500 (adidas by Stella McCartney アディダス・ステラ・マッカートニー) 0120-810-654



あんじゅら・まき・ぼーのん

1980年、神奈川県生まれ。日本のアメリカンスクールを卒業後、ハワイの大学に留学し、本格的なサーフィンと出会う。その後、モデル、タレント、プロサーファーとして活動。その後、2006年より、障がいを持つ子供たちに自然の素晴らしさを教えるサーフィンスクール「Ocean's Love」を主宰。また、ハワイ好きが高じて、今年5月には、その魅力を綴った『Love Hawaii』を発売。



『Love Hawaii! ハワイの楽しさ教えるハワイの楽しみ方 特別編』
講談社 ¥1,575

People

ヨガ & サーフの精神を ボランティアに活かす

photo by Shinako Matsukawa

Love
Someone
with YOGA

モデル・プロサーファー アンジェラ・磨紀・バーノンさん

「最初は、ハワイに住んでいたときに、友人に説かれて。先生の見よう見まねでボーナスをとるだけでしたが、だんだんヨガの精神的な部分にもひかれるようになつていきました。やつてみると自分の心の状態まで感じられるようになるんですね」

今はもうすっかりヨガに夢中になり、ずっと学んできたハタヨガのインストラクターを務めるほどに。「でも最近、性格的にもサーフィンで鍛えた筋力的にも、パワフルなアシュタンガヨガに向いているんじやないかって言れて。始めてみたら確かに合っているようで、ハマりつつありますね。ただ、アシュタンガヨガに限らず、もっともっといろんなヨガ自分で体験し、学び

たいと思っています」「楽しくて仕がない」と満面の笑みで話す彼女にとって、ヨガは一生続けたい特別なものだという。そして、彼女のもうひとつの大切にしているものが、ボランティアワークだ。彼女は障がいのある子どもたちのためのサーフィンスクール「オーシャンズラブ」の主宰でもある。

「たとえば、自閉症の子は新しい環境や初対面の人とのふれあいが苦手で、私に手をとられる」とさえ語ります。でも、サーフボードでいったん沖に出ると、別人のように目を輝かせて帰ってくる。海には、そんな大きなパワーがあるんです」

スクール開設当初は、「なぜ、障がいのある子どもたちに、危険なスポーツをさせなければいけないのか」と、反対意見も多かったという。だが、したいに子供たちが心を開き、成長していく様子が認められるつてくれたらって思います」

日本とハワイを行き来しながら、モデル、タレント、サーファーとして活躍するアンジェラ・磨紀・バーノンさん。

「最初は、ハワイに住んでいたときに、友人に説かれて。先生の見よう見まねでボーナスをとるだけでしたが、だんだんヨガの精神的な部分にもひかれるようになつていきました。やつてみると自分の心の状態まで感じられるようになるんですね」

今はもうすっかりヨガに夢中になり、ずっと学んできたハタヨガのインストラクターを務めるほどに。「でも最近、性格的にもサーフィンで鍛えた筋力的にも、パワフルなアシュタンガヨガに向いているんじやないかって言れて。始めてみたら確かに合っているようで、ハマりつつありますね。ただ、アシュタンガヨガに限らず、もっともっといろんなヨガ自分で体験し、学びたいと思っています」「楽しくて仕がない」と満面の笑みで話す彼女にとって、ヨガは一生続けたい特別なものだという。そして、彼女のもうひとつの大切にしているものが、ボランティアワークだ。彼女は障がいのある子どもたちのためのサーフィンスクール「オーシャンズラブ」の主宰でもある。

「たとえば、自閉症の子は新しい環境や初対面の人とのふれあいが苦手で、私に手をとられる」とさえ語ります。でも、サーフボードでいったん沖に出ると、別人のように目を輝かせて帰ってくる。海には、そんな大きなパワーがあるんです」